

呼吸器内科に受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在呼吸器内科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られた試料・情報を利用させていただきます。

ご自身の試料・情報がこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、試料・情報の利用を停止することができます。ただし、すでに研究結果の解析が終了し、公表されている場合などに、あなたの情報のみを取り除くことができない可能性もあります。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身の試料・情報がこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

間質性肺炎急性増悪患者における入院前 Clinical Frailty Scale[※]のコードステータス決定に対する有用性の検討

※CSF：臨床虚弱尺度

●研究の目的

間質性肺炎急性増悪で入院された患者さんを対象に、入院前 CFS と入院 48 時間以内の初期コードステータス、ならびに入院後のコードステータスの修正との関連を明らかにすることで、フレイル評価が治療強度の見直しや早期の意思決定支援に資する可能性を検討することを目的としています。

●対象となる患者さん

2018 年 10 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の間、間質性肺炎急性増悪で当科に入院され CFS 評価及びコードステータスの評価を実施された患者さん。

●研究予定期間：2026 年 2 月 16 日[※]から 2027 年 3 月 31 日

※ただし、病院長の許可日以降に開始します

●研究機関の長：神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 貝原 聡

●使用させていただく試料・情報

- ・入院前 Clinical Frailty Scale (CFS)、入院時コードステータス関連項目
- ・年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、基礎疾患の有無
- ・病名、重症度、転帰
- ・処方薬剤（投与量、投与期間など）
- ・臨床検査値
- ・CT 等の画像 等

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究に利用する試料・情報は、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し加工しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり加工していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

●研究機関（情報管理責任者）および問い合わせ先

様式 6-1

神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

研究責任者名：田中 尚登

住所：神戸市中央区港島南町 2 丁目 1-1

電話：078-302-4321

2026 年 2 月 12 日作成 第 1.0 版